高齢期の健康課題

小地域ネットワーク単位でみると、置戸市街地区では集える場所がない。

小地域ネットワークの役員として、「魅力ある会、楽しませること」に頭を悩ませる。色々なことに取り組んでいきたいので、行政には情報提供をお願いしたい。

自分１人ではいけない。

交通手段がなく行けない人もいる。巡回バスなどがあれば集まるかもしれない。

集まりに使える施設があれば教えて欲しい。集まる団体が増えるかもしれない。

集いの場が大切!!

老人クラブに参加出来なくなると、閉じこもりになる

おけと大学、ゲートボールの会員数は増えている

小地域ネットワーク
老人クラブ、おけと大学
ゲートボール、リズム体操

小地域ネットワーク活動は、65歳以上からという年齢区分にとらわれず、若い人にも運営に協力してもらいたい。そうなれば後継者も育ちやすくなるのではないか。

・担い手がいない
・後継者が育たない

入会すると、いずれ役職につかなければならないのが負担。

メンバーが高齢化し、事務局の運営や施設管理が難しくなってきた。老人クラブとしていつまで運営できるか・・・事務局を役場に頼みたい気持ちもある。

老人クラブ単位で介護予防のためのリーダー育成に取り組むも、目標は達成できなかった。会員の高齢化、自主活動化が困難。

介　　護

新規介護認定の理由

1位	認知機能の低下
2位	転倒・骨折
3位	脳血管疾患

要介護者の有病率

	置戸	北海道
心　疾　患	81.3	58.2
脳血管疾患	68.4	25.2

死　　亡

SMR（標準化死亡比）

男女とも	心疾患、脳血管疾患	高い
女　性	すい臓がん、自殺	高い

死　因（H27）

1位	呼吸器疾患
2位	老衰
3位	悪性新生物

成人期の課題
＊別紙「成人期の健康課題整理表」参照

５人に１人が口腔機能の低下を感じている

高齢者の運動不足には、日常の中で自然と活動量が増えるような取り組みが必要なのでは。
土地柄どうしても移動は車。巡回バスを走らせ、バス停までは歩く等の工夫を提案したい。